**経営所得安定対策情報管理システム**

**申請書入力システム　FAQ集**

[**1.** **申請書入力システム　セットアップ・初期設定** 1](#_Toc204169963)

[Q1.1 Access2003、Access2007、Access2010またはAccess2013のランタイムを導入済みだが利用できるか？ 1](#_Toc204169964)

[Q1.2 Access2003が入っているパソコンにAccess ランタイム2007、Access ランタイム2010およびAccess ランタイム2013を入れようとすると「インストールに失敗した」と表示される 1](#_Toc204169965)

[Q1.3 メインメニュー画面のボタンを押せない。 1](#_Toc204169966)

[Q1.4 複数の地域協議会のデータを一つの申請書入力システムで管理できるか？ 2](#_Toc204169967)

[Q1.5 全農業者のデータを一括して取り扱う等、大量のデータを取り扱いは可能か？ 2](#_Toc204169968)

[Q1.6 1台のPCに複数の申請書入力システムをセットアップすることは可能か？ 2](#_Toc204169969)

[Q1.7 申請書入力システムのファイル名は変更可能か？ 2](#_Toc204169970)

[Q1.8 申請書入力システムと同じフォルダにある入力支援ツールを使用したい。 2](#_Toc204169971)

[Q1.9 分割用支援ツールと支援ツールは何が違うのか？ 2](#_Toc204169972)

[Q1.10 帳票テンプレートが読み取り専用だった。 2](#_Toc204169973)

[Q1.11 分割用支援ツールが無かった。 3](#_Toc204169974)

[Q1.12 DBファイルをどこかに移動してしまった。 3](#_Toc204169975)

[Q1.13 Excel2003で支援ツールのボタンを押下しても反応しない。 3](#_Toc204169976)

[Q1.14 共有のサーバーやフォルダに保存した申請書入力システムを、自分のPCから操作すると動作が遅くなる。 3](#_Toc204169977)

[Q1.15 申請書入力システムを起動するとエラー画面が表示される。 3](#_Toc204169978)

[Q1.16 Microsoft Office 365が導入されているパソコンにAccess Runtime 2016を入れようとした場合に、以下のようなメッセージが表示される。 4](#_Toc204169979)

[**2.** **交付申請書類等の入力・修正・検索** 5](#_Toc204169980)

[Q2.1 郵便番号入力で自動的に表示される住所が正しくない。 5](#_Toc204169981)

[Q2.2 入力画面でキーボードを利用して項目間の移動はできるか？ 5](#_Toc204169982)

[Q2.3 小文字カタカナの保存ができない。 5](#_Toc204169983)

[Q2.4 地域協議会等管理コードに利用できる文字の種類の制限はあるか？ 5](#_Toc204169984)

[Q2.5 氏名や住所等を漢字で入力する際に、使用できない文字はあるか？ 5](#_Toc204169985)

[Q2.6 帳票出力の作成が実行できない。 5](#_Toc204169986)

[Q2.7（削除） 5](#_Toc204169987)

[Q2.8 一括取り込みを実行すると申請書入力システム内の既存データは上書きされるのか？ 5](#_Toc204169988)

[Q2.9 入力済みの交付申請書類の情報を申請者毎に順番に確認したい。 6](#_Toc204169989)

[Q2.10 面積の単位を平米で入力できるか？ 6](#_Toc204169990)

[Q2.11 FAX番号は、申請者が保有していない場合、空欄でいいか？ 6](#_Toc204169991)

[Q2.12 「”（ダブルコーテーション）」や「、（カンマ）」を入力してもいいか？ 6](#_Toc204169992)

[Q2.13 営農計画書（画面１）の必須項目はどれか？ 6](#_Toc204169993)

[Q2.14 交付金交付申請書情報入力画面の必須項目はどれか？ 6](#_Toc204169994)

[Q2.15 地域協議会等管理コード（市町村コード＋地区コード＋集落コード＋農業者番号）の自動統合はできないか？ 6](#_Toc204169995)

[Q2.16 住所は都道府県・市区町村・市区町村以下と分けて入力しなくてはいけないのか？ 7](#_Toc204169996)

[Q2.17 入力支援ツールでコピー＆ペースト時、セルの範囲を選択できない。 7](#_Toc204169997)

[Q2.18 入力用データ取込に非常に時間がかかる。 7](#_Toc204169998)

[Q2.19 分筆がない場合、分筆番号は入力しなくてもいいのか？ 7](#_Toc204169999)

[Q2.20　帳票出力時に、「プログラミングによる Visual Basic プロジェクトへのアクセスは信頼性に欠けます」というエラーメッセージが表示される。 7](#_Toc204170000)

[Q2.21 入力支援ツールで作業中、処理が段々遅くなる。 8](#_Toc204170001)

[Q2.22 入力支援ツールの［RIYOU\_農地の利用計画］シートに提出フラグがあるが？ 8](#_Toc204170002)

[Q2.23 入力支援ツールで空のCSVファイルが作成されるが？ 8](#_Toc204170003)

[Q2.24 交付金算定システムから申請書入力システムへ、交付申請者データ及び承継データの引継ぎは行えるか？ 9](#_Toc204170004)

[Q2.25（削除） 9](#_Toc204170005)

[Q2.26 面積払の面積記入欄はどのような場合に入力が必要となるか? 9](#_Toc204170006)

[Q2.27 入力支援ツールに登録したデータを申請書入力システムに取り込んだ場合、事前に申請書入力システムに登録したデータは削除されるか？ 9](#_Toc204170007)

[Q2.28 複数の入力支援ツールに登録したデータを、１つのデータとして申請書入力システムに統合したい場合は、どのようにすれば良いか? 9](#_Toc204170008)

[Q2.29 入力支援ツールで提出フラグは提出する、提出しないを登録できますが、いずれの場合もINPUT\_1\_交付金交付申請書\_地域協議会名.csv～INPUT\_4\_農地の利用状況\_地域協議会名.csvのCSVファイルに出力され、申請書入力システムに取り込まれるでしょうか? 9](#_Toc204170009)

[Q2.30 申請書入力システムで提出しないを選んだ場合、提出用CSVファイル、様式６号、様式７号は出力されないでしょうか？ 10](#_Toc204170010)

[Q2.31 助成対象登録情報画面には作物ごとに作物マスタで設定した使途整理番号分表示されるのか? 10](#_Toc204170011)

[Q2.32 助成対象面積・助成金額情報画面はａ単位での表示か? 10](#_Toc204170012)

[Q2.33 配分枠・活用方針登録画面は協議会単位か?その場合、どの農家からでも同じ画面が表示されるのか? 10](#_Toc204170013)

[Q2.34 数量払いの場合の所要額は直接入力することになるのか? 10](#_Toc204170014)

[Q2.35 登録した後から使途設定マスタを変更した場合、登録しなおすことになるのか? 10](#_Toc204170015)

[Q2.36入力支援ツールからデータを登録する場合、生産数量目標等（農業者等間調整後）の作付面積を圃場毎で集計するには、どのような操作をすればよいか？ 10](#_Toc204170016)

[Q2.37 複数の申請書入力システムで[確認用データファイル出力]を実行し、一体化して[データ取込]を行うには、どのような操作をすればよいか？ 10](#_Toc204170017)

[Q2.38 産地交付金の交付額１回目、２回目、３回目の使用方法について 11](#_Toc204170018)

[Q2.39 シートの削除や、シート内のレイアウトを修正してもよいか？ 11](#_Toc204170019)

[Q2.40 農地の利用状況「営農計画書（画面２）」に記入した作物が集計画面「営農計画書（画面３）」で正しく集計されない。（例：加工用米の面積がなたねに集計される。） 11](#_Toc204170020)

[Q2.41支援ツールで入力した営農計画書・面積払の「確定面積」を交付金算定システムへ登録する面積とするには、どのように操作すればよいか？ 11](#_Toc204170021)

[Q2.42 （削除） 11](#_Toc204170022)

[Q2.43 「高収益作物畑地化支援」の対象ではない場合で「高収益作物のみ」を作付して畑地化する場合、申請書入力システムではどのように登録を行えばよいか？ 12](#_Toc204170023)

[**3.** **帳票出力及び登録用データの出力** 13](#_Toc204170024)

[Q3.1 登録用ファイルの名前を変更してもいいか？ 13](#_Toc204170025)

[Q3.2 登録用データは、地域協議会単位で一まとめにして提出する必要があるか？ 13](#_Toc204170026)

[Q3.3 一旦提出したデータを修正して再提出する場合はどのようにしたらいいのか？ 13](#_Toc204170027)

[Q3.4 平成22年（前年）筆データ（筆番号・作物名・面積等）を反映する、しないで選択して作表できるか？ 13](#_Toc204170028)

[Q3.5（削除） 13](#_Toc204170029)

[Q3.6（削除） 13](#_Toc204170030)

[Q3.7 帳票出力中に申請書入力システムを強制終了した。 13](#_Toc204170031)

[Q3.8 帳票出力中に入力支援ツールを使用したいが？ 14](#_Toc204170032)

[Q3.9様式11－10号の帳票の１回目、２回目と３回目の違いは何か？ 14](#_Toc204170033)

[Q3.10（削除） 14](#_Toc204170034)

[Q3.11（削除） 14](#_Toc204170035)

[Q3.12（削除） 14](#_Toc204170036)

[Q3.13産地交付金活用実績の明細（総括表）シート「③追加配分」に出力された加工用米、備蓄米の実面積の集計と、合計（基幹　実面積）が一致しない。 14](#_Toc204170037)

[Q3.14（削除） 15](#_Toc204170038)

[**4.** **入力中のデータのバックアップ（ファイル出力）** 15](#_Toc204170039)

[Q4.1 データのバックアップ機能はあるか？ 15](#_Toc204170040)

[Q4.2 確認用データ出力で出力された02\_営農計画書情報\_20yy\_mmdd\_hhmmss.csvファイルのなかに、入力項目にはない「WCS用稲：出荷販売数量」、「控除面積」という項目があるがどの様に使用するものなのか？ 15](#_Toc204170041)

1. **申請書入力システム　セットアップ・初期設定**

Q1.1 Access2003、Access2007、Access2010またはAccess2013のランタイムを導入済みだが利用できるか？

Access2003、Access2007、Access2010および Access2013は、メーカーサポート期限が2023年04月11日で終了しているため、利用できません。Access2016のランタイムを導入してください。

導入方法は【申請書入力システム操作マニュアル.docx】の「1.2 MS Access 2016Runtimeの導入方法」を参照してください。

Q1.2 Access2003が入っているパソコンにAccess ランタイム2007、Access ランタイム2010およびAccess ランタイム2013を入れようとすると「インストールに失敗した」と表示される

Access2003、Access2007、Access2010および Access2013は、メーカーサポート期限が2023年04月11日で終了しているため、利用できません。Access2016のランタイムを導入してください。

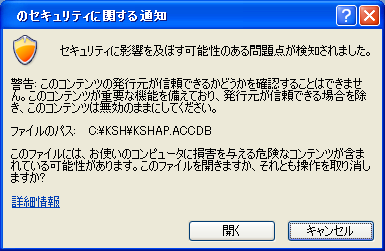
ただし、該当するパソコンで、Access2003、Access2007、Access2010 またはAccess2013を他のシステムで使用している場合、Access ランタイム2016を導入すると、そのシステムに対して悪影響が出る可能性があります。このため、そのシステムを担当している業者様に、「Access2003、Access2007、Access2010 またはAccess2013を削除して、Access2016のランタイムを導入」した場合に問題があるかどうか、ご確認をお願いいたします。問題ないようでしたら、Access2003、Access2007、Access2010 またはAccess2013を削除してAccess2016のランタイムを導入してください。

導入方法は【申請書入力システム操作マニュアル.docx】の「1.2 MS Access 2016Runtimeの導入方法」を参照してください。

Q1.3 メインメニュー画面のボタンを押せない。

セキュリティ設定を行ってください。申請書入力システムを立ち上げると、コンピュータのセキュリティ条件の設定によっては、下記のようなメッセージが表示されます。（必要に応じて、ウィルスチェックなどは行なって下さい）その場合は、[開く]ボタンをクリックしてください。

申請書入力システム立上げ時のセキュリティメッセージの表示



（最初に初期設定を行なって下さい。初期設定を完了するまで、他の機能を使用することが出来ません。）

Q1.4 複数の地域協議会のデータを一つの申請書入力システムで管理できるか？

できません。１つの申請書入力システムで扱う地域協議会コードは１種類としてください。

Q1.5 全農業者のデータを一括して取り扱う等、大量のデータを取り扱いは可能か？

PCに搭載されたメモリの容量や、CPUの処理速度によっては、動作が非常に遅くなったり、システムが異常終了する場合があります。

その場合は、集落単位でデータを分割するなどして、システムが動作可能な容量に抑えて、作業を行なって下さい。また、最大取扱い可能件数は、Excelの1シートの行数（65536件）までです。

Q1.6 1台のPCに複数の申請書入力システムをセットアップすることは可能か？

違う名称のフォルダを複数作成して、それぞれのフォルダに申請書入力システムをコピーしてセットアップすれば、1台のPCで複数の申請書入力システムを併用することが可能です。

例えば、集落ごとにフォルダを作成（「上町」「中町」「下町」など）して、集落単位でデータを分割して作業をしていただくことが可能です。

Q1.7 申請書入力システムのファイル名は変更可能か？

名称の変更は絶対に行わないでください。

Q1.8 申請書入力システムと同じフォルダにある入力支援ツールを使用したい。

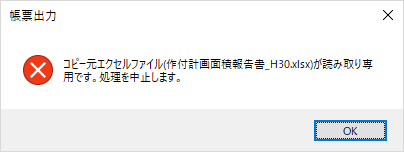
セットアップ完了後、申請書入力システムと同じフォルダ内にある分割用入力支援ツールはデータ分割時にコピー元として使用されますので、入力支援ツールを使う場合は、分割用ではない方の入力支援ツールをご使用下さい。

Q1.9 分割用支援ツールと支援ツールは何が違うのか？

申請書入力システムと同じフォルダ内にある分割用入力支援ツールはデータ分割処理時にテンプレートとして使用されます。データ分割時に指定のフォルダに作成された分割用入力支援ツールは機能的に通常の入力支援ツールと変わりありません。

Q1.10 帳票テンプレートが読み取り専用だった。

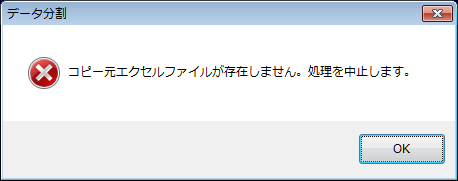
帳票テンプレートが読み取り専用の場合、帳票出力で該当の帳票を出力すると以下の様なメッセージが表示されます。



この場合は、帳票テンプレートの[プロパティ]-［全般］-[読み取り専用]のチェックを外して下さい。

Q1.11 分割用支援ツールが無かった。

申請書入力システムと同じフォルダ内にある分割用入力支援ツールが無い状態でデータ分割を行なうと以下の様なメッセージが表示されます。



この場合は、提供媒体よりシステムを稼働中のフォルダにコピーして復元して下さい。

Q1.12 DBファイルをどこかに移動してしまった。

稼働申請年度のDBファイルが申請書入力システムと同じフォルダ内にない場合、初期状態に戻ってしまいますのご注意ください。稼働申請年度のDBファイルの所在が分かる場合は、初期状態から該当申請年度を入力し、新規の該当申請年度のDBファイルを作成した後、一度、申請書入力システムを終了し、新規で作成した該当申請年度のDBファイルを削除した後、移動したDBファイルを申請書入力システムと同じフォルダに復元して下さい。

Q1.13 Excel2003で支援ツールのボタンを押下しても反応しない。

Microsoft Office 2003 のサポートは、2014年4月に終了しているため、Excel2003はご使用なさらないでください。

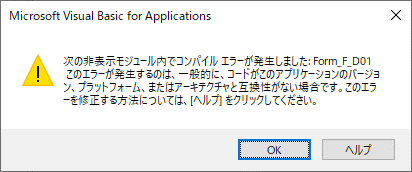
Q1.14 共有のサーバーやフォルダに保存した申請書入力システムを、自分のPCから操作すると動作が遅くなる。

ネットワーク越しに申請書入力システムを操作する場合、申請書入力システムのファイルと自分のPCの間でデータ出入力の通信が発生するため、その分動作は遅くなります。

申請書入力システムは自分のPCに保存して使用してください。

Q1.15 申請書入力システムを起動するとエラー画面が表示される。

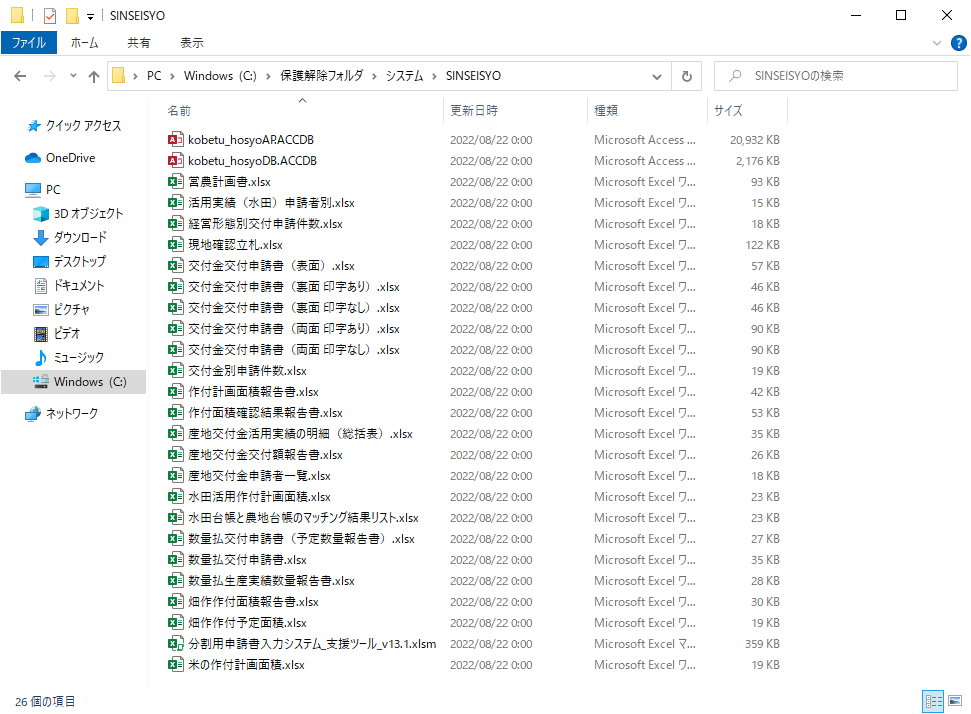
別バージョンのAccess で編集、保存された申請書入力システムを起動すると、以下の様なエラー画面が表示される場合があります。



申請書入力システム操作マニュアルの「1.4 申請書入力システムの障害時の復旧方法（2）Kobetu\_hosyoAP.accdb が破損して3.4.4 確認用データファイル出力においてファイルが出力されていない場合」に従い、申請書入力システムを復旧してください。

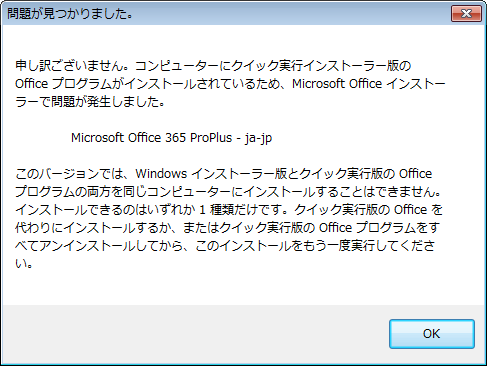
上記のAccessバージョンの違いによりファイルが開けなくなることがありますので、拠点や支局等で一度開かれた申請書入力システムは協議会等へ配布を行わないでください。

配布されたシステムの更新日時をご確認いただき、一部のファイルのみ更新日付が異なる場合は、システムが一度起動及び更新されています。システムを起動してエラーとなる場合はAccessバージョンの違いによるエラーだと考えられます。



配布されたファイルの更新日付は全て同じになっているため、更新日付が異なる場合はファイルが起動及び更新されています。

Q1.16 Microsoft Office 365が導入されているパソコンにAccess Runtime 2016を入れようとした場合に、以下のようなメッセージが表示される。



Microsoft Office 365とAccess Runtime 2016のプログラムは並行導入できません。メッセージが表示された場合は、Microsoft Office 365が導入されていない、他のパソコンを利用していただく必要がありますので、ご注意ください。

1. **交付申請書類等の入力・修正・検索**

Q2.1 郵便番号入力で自動的に表示される住所が正しくない。

郵便番号辞書は、Microsoft　Ofiiceの機能を活用していますが、現在郵便番号情報のアップデートパッチがマイクロソフトから提供されていないため更新が出来ません。

申請書に記載されている住所を手動で入力するか、日本郵便が提供する郵便番号検索を利用して住所情報を取得してください。

郵便番号検索URL：http://www.post.japanpost.jp/zipcode/index.html

Q2.2 入力画面でキーボードを利用して項目間の移動はできるか？

タブ（Tab）キーまたは、Enterキーを利用して項目間の移動が可能です。

Q2.3 小文字カタカナの保存ができない。

交付申請書　データ入力・修正・確認機能の経営所得安定対策等交付金交付申請書情報入力画面の口座名義（フリガナ）、ゆうちょ口座名義（フリガナ）について、半角小文字カタカナ（ｧｨｩ・・・）や、半角長音符（ｰ）は入力禁止です。

半角小文字カタカナは大文字に変更（ｧ → ｱ）、半角長音符は半角マイナスに変更（ｰ → -）して入力してください。例）ﾌｧｰﾑ　⇒　ﾌｱｰﾑ

＊使用できない文字一覧については申請書入力システム操作マニュアルの【別紙04】を参照してください。

Q2.4 地域協議会等管理コードに利用できる文字の種類の制限はあるか？

半角の大文字ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ（ABCD…）と数字（1234567890）のみ使用できます。

Q2.5 氏名や住所等を漢字で入力する際に、使用できない文字はあるか？

交付申請書　データ入力・修正・確認機能の経営所得安定対策等交付金交付申請書情報入力画面の都道府県、住所（市区町村）、住所（市区町村以下）、口座名義（漢字）、ゆうちょ口座名義（漢字）について、および営農計画書　データ入力・修正・確認機能の営農計画書画面１の都道府県、住所（市区町村）、住所（市区町村以下）についてはJIS第二水準までの漢字と一部記号について使用可能です。

その他漢字入力項目についての制限はありません。

詳細は、申請書入力システム操作マニュアルの【別紙04】を参照してください。

（例：「はしごだか」等の漢字は使用できません）

Q2.6 帳票出力の作成が実行できない。

申請書入力システム操作マニュアルの「1.3申請書入力システムのコンピュータへのセットアップ　（2）Excelのセキュリティ設定」を参照し、Excelのセキュリティ設定を行ってください。

Q2.7（削除）

Q2.8 一括取り込みを実行すると申請書入力システム内の既存データは上書きされるのか？

一括取り込みを実行すると、申請書入力システムにある既存のデータは取込データで上書きされます。交付申請書の情報を申請書入力システムの画面上で削除した後、再度入力用のCSVデータを取り込む場合にもCSVファイルのデータが優先されます。

Q2.9 入力済みの交付申請書類の情報を申請者毎に順番に確認したい。

申請書入力システムでは、検索画面の初期状態で全件表示されます。絞り込みが必要な場合は検索条件を指定して申請者の絞り込んだ情報を画面に表示します。複数の申請者の情報を順番に表示して確認したい場合は、検索画面で地域協議会等管理コードを範囲指定し、検索します。表示された申請情報を順に入力画面で確認し、検索画面に戻り、次の申請情報を選択することで確認は可能です。多数のデータを一度に確認したいときには、「メインメニュー」-「一括作業」⇒「入力用データ出力」で入力データをExcelファイルに出力し、Excel上で作業を行うことを推奨します。

Q2.10 面積の単位を平米で入力できるか？

営農計画書の面積値は全て平米単位で入力してください。アール単位では入力しないでください。

Q2.11 FAX番号は、申請者が保有していない場合、空欄でいいか？

FAX番号は、申請者が保有していない場合、空欄としてください。

Q2.12 「”（ダブルコーテーション）」や「、（カンマ）」を入力してもいいか？

「”（ダブルコーテーション）」や「、（カンマ）」は入力できない文字ですので全ての項目で**絶対に**使用しないでください。**また、備考欄は入力中、Enterキー（改行）を使用しないで下さい。**

Q2.13 営農計画書（画面１）の必須項目はどれか？

下記の項目が必須項目となります。未入力の項目があると保存できません。

地域協議会等管理コード、氏名ﾌﾘｶﾞﾅ、氏名漢字、郵便番号、住所（市区町村以下）、

電話、経営形態、WCS用稲・米粉用米・飼料用米・その他・加工用米・備蓄米 生産予定面積

Q2.14 交付金交付申請書情報入力画面の必須項目はどれか？

下記の項目が、必須項目となります。未入力の項目があると保存できません。

地域協議会等管理コード、氏名ﾌﾘｶﾞﾅ、氏名漢字、郵便番号、都道府県、住所（市区町村）、住所（市区町村以下）、電話、経営形態、口座届出書

＜ゆうちょ銀行以外を利用する申請者＞

金融機関コード、支店コード、預金種目コード、口座番号、口座名義（ﾌﾘｶﾞﾅ）、

口座名義（漢字）

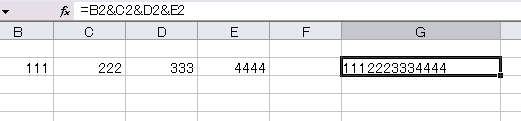
＜ゆうちょ銀行を利用する申請者＞

ゆうちょ口座記号、ゆうちょ口座ＣＤ、ゆうちょ口座番号、ゆうちょ口座名義（ﾌﾘｶﾞﾅ）、ゆうちょ口座名義（漢字）

Q2.15 地域協議会等管理コード（市町村コード＋地区コード＋集落コード＋農業者番号）の自動統合はできないか？

Excelの「＆」機能を利用して項目の値を統合してください。

例）セルB2に「111」, セルC2に「222」, セルC2に「333」, セルE2に「4444」が入力されていた場合：セルG2に「=B2&C2&D2&E2」と記入してください。セルG2の値がセルB2～E2の値を統合した値となります。



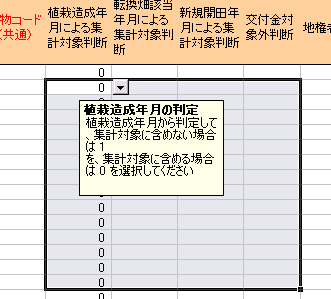
Q2.16 住所は都道府県・市区町村・市区町村以下と分けて入力しなくてはいけないのか？

出来るだけ分けて入力してください。しかし、既存データの活用等で住所を分ける作業負荷が高い場合には、(12)住所\_市区町村以下にまとめて入力することも可能です。

Q2.17 入力支援ツールでコピー＆ペースト時、セルの範囲を選択できない。

[コピー＆ペースト時にマウスをご利用の際]

なお、入力支援ツールで、セルの値のコピーし、貼り付けをする際、マウスをご利用の際、セルの範囲を通常の左クリックで範囲を選択することができない場合があります。下記の図の太線の右下をマウスで引っ張るようにするか、または、キーボードで「Shift」+ 矢印キー（→、↓）を押下し、張り付ける範囲を指定してください。



ここをマウスで引っ張る

Q2.18 入力用データ取込に非常に時間がかかる。

データの取り込み時に、使用できない文字が含まれていないか1文字ずつチェックを実行しています。そのため、処理にある程度の時間がかかる仕様となっております。

Q2.19 分筆がない場合、分筆番号は入力しなくてもいいのか？

分筆番号は必須ですので、分筆がない場合でも「001～999」までの数値を入力してください。また、入力支援ツールで未入力のまま入力用データ取り込みを実行すると、Q2.20のメッセージが表示され、申請書入力システムには取り込まれません。

Q2.20　帳票出力時に、「プログラミングによる Visual Basic プロジェクトへのアクセスは信頼性に欠けます」というエラーメッセージが表示される。

Excel 2016の場合に、プログラミングによるアクセスを信頼するかどうかを選択できるセキュリティ機能が含まれているため、上記のメッセージが表示されてしまいます。

各Excelファイル（交付金交付申請書（一般）、交付金交付申請書（担い手）、営農計画書、作付面積確認結果報告書、作付計画面積報告書）で以下の対応を行ってください。

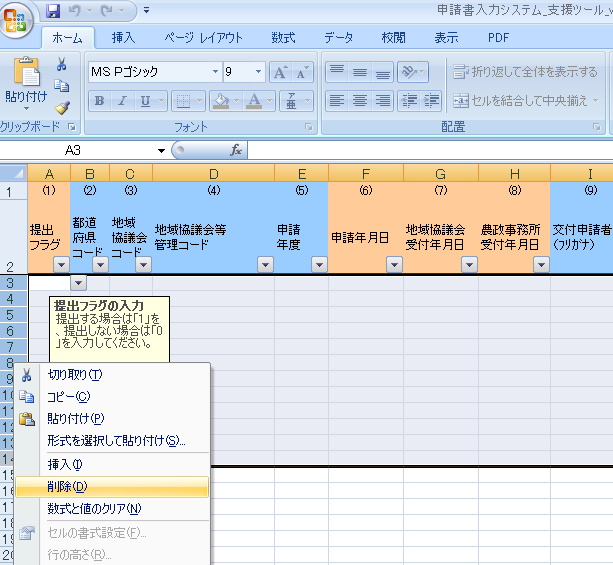
＜Excel 2016の場合＞

* 各Excelファイルを開きます。
* [ファイル]メニューの、[オプション] をクリックします。
* [セキュリティ センター] をクリックします。
* [セキュリティ センターの設定] をクリックします。
* [マクロの設定] をクリックします。
* [VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する] チェック ボックスをオンにします。
* [OK] をクリックして [オプション] ダイアログ ボックスを閉じます。
* ファイルを保存して閉じます。

Q2.21 入力支援ツールで作業中、処理が段々遅くなる。

　現在データ入力されていない行でも以前使用した行情報が残っていたりすると処理

が遅くなる可能性があります。この場合には、未入力の行を一度削除して下さい。



空白行を複数選択し、右クリック削除を実施します

Q2.22 入力支援ツールの［RIYOU\_農地の利用計画］シートに提出フラグがあるが？

　［RIYOU\_農地の利用計画］の提出フラグは、申請書入力システム\_支援ツール\_v5.4以降、メイン画面の【4. csvファイル出力】に「提出するのみ」チェックが追加になっており、チェックされた場合、提出フラグが“１”のデータのみCSV出力対象となります。V5.3以前は、システム的には使用されていませんので何か数値が入力されていても無視されます。V5.3以前の支援ツールでは思わぬ障害を防ぐためにも［RIYOU\_農地の利用計画］の提出フラグには何も入力しないで下さい。

「提出するのみ」で対象となるのは、「SINSEI\_交付申請書」シート、「EINOU\_営農計画書」シート、「RIYOU\_農地の利用計画」シート、「SINSEI2\_交付申請書\_数量払」シートです。

Q2.23 入力支援ツールで空のCSVファイルが作成されるが？

　入力支援ツールにおいて各シートが未入力の状態でCSVファイルを作成すると、空行（値のないカンマが記載された行）のファイルが作成される場合があります（支援ツールV1.0の場合）。このファイルでデータ取込を実施するとエラーになります。該当テーブルのデータを削除したい場合はいったんファイルを開いて不正行を削除して取り込んでください。申請書入力システム\_支援ツール\_v1.1.xls以上をご使用の場合、空行は出力されません。入力支援ツールで意図しない未入力の状態でCSVファイルは作成しない様にし、作成した場合も、運用にはご注意ください。

Q2.24 交付金算定システムから申請書入力システムへ、交付申請者データ及び承継データの引継ぎは行えるか？

　交付金算定システムから申請書入力システムへのデータ引き継ぎを行う、直接の機能はありませんが、交付金算定システムでは交付申請登録データのCSV出力が可能ですので、CSVファイルを元に入力支援ツールへ、データのコピー＆ペーストを行うことにより対応ができます。交付申請登録データのCSVと承継登録データのCSVは別ファイルとなりますので、承継登録データを引き継ぐ場合は、別途承継登録データのCSVを出力し、そちらから別途コピー＆貼り付けを行うこととなります。

　　支援ツール等にデータのコピー＆ペーストを行う場合は、コピー元とペースト先の申請者が必ず一致していることを確認してください。異なる申請者の情報を更新して処理を進めてしまった場合、更新された内容が申請者に通知されてしまう場合がありますので情報漏洩の危険性があります。特に入力支援ツールなど複数の申請者の情報を一括管理するシステムにおいては、ペーストを１行間違えただけで複数の申請者の登録を誤って実施してしまうことになりますのでご注意ください。

Q2.25（削除）

Q2.26 面積払の面積記入欄はどのような場合に入力が必要となるか?

　面積払については、生産実績数量に基づいて面積の計算を行いますので、システムによる登録は数量のみの登録を基本とします。面積記入欄の利用については、単収の異なる地域の実績数量を合算した場合など、単一の単収のみで面積の算出が行えない場合に、面積を直接入力します。

Q2.27 入力支援ツールに登録したデータを申請書入力システムに取り込んだ場合、事前に申請書入力システムに登録したデータは削除されるか？

　入力支援ツールに登録したデータを申請書入力システムに取り込んだ場合、事前に申請書入力システムに登録されたデータは全て削除され、新たに取り込んだデータだけが残ります。常に取込み時の最新データのみが反映される仕様です。

Q2.28 複数の入力支援ツールに登録したデータを、１つのデータとして申請書入力システムに統合したい場合は、どのようにすれば良いか?

　データの統合を行う際は、入力支援ツールに登録されたデータをコピー＆ペーストにて、１つの入力支援ツールにまとめて登録してから、申請書入力システムへの登録を行ってください。

Q2.29 入力支援ツールで提出フラグは提出する、提出しないを登録できますが、いずれの場合もINPUT\_1\_交付金交付申請書\_地域協議会名.csv～INPUT\_4\_農地の利用状況\_地域協議会名.csvのCSVファイルに出力され、申請書入力システムに取り込まれるでしょうか?

　支援ツールで提出する／提出しないのいずれを選んで入力しても、INPUT1～4のCSVファイルに出力され、申請書入力システム本体に取り込まれます。

Q2.30 申請書入力システムで提出しないを選んだ場合、提出用CSVファイル、様式６号、様式７号は出力されないでしょうか？

　提出しないを選んだ場合は、提出用CSVファイル、様式６号、様式７号は出力されません。

Q2.31 助成対象登録情報画面には作物ごとに作物マスタで設定した使途整理番号分表示されるのか?

　その通り。作物マスタで設定した使途整理番号分表示されます。

Q2.32 助成対象面積・助成金額情報画面はａ単位での表示か?

　その通り。ａ単位で表示しています。

Q2.33 配分枠・活用方針登録画面は協議会単位か?その場合、どの農家からでも同じ画面が表示されるのか?

　協議会単位であり、どの農家からも同じ画面が表示されます。

Q2.34 数量払いの場合の所要額は直接入力することになるのか?

　使途が数量払該当の場合、直接入力することになります。

Q2.35 登録した後から使途設定マスタを変更した場合、登録しなおすことになるのか?

　登録することになります。

Q2.36入力支援ツールからデータを登録する場合、生産数量目標等（農業者等間調整後）の作付面積を圃場毎で集計するには、どのような操作をすればよいか？

入力支援ツール側には申請書入力システムの営農計画書（画面１）の生産数量目標等（農業者間調整後）の「ロック」に該当する機能がないため、申請書入力システムに取り込む際にはすべてデフォルトで「ロック」にチェックが入った状態で登録されます。

そのため、入力支援ツールで作成したデータの作付面積を圃場毎の集計値で上書きするためには一旦申請書入力システムに取り込んだ後で、営農計画書（画面１）で個別に「ロック」のチェックを外し、営農計画書（画面２）の集計をおこなう必要があります。

Q2.37 複数の申請書入力システムで[確認用データファイル出力]を実行し、一体化して[データ取込]を行うには、どのような操作をすればよいか？

複数の申請書入力システムで[確認用データファイル出力]を実行後、作成されたCSVファイルを一つのフォルダに保存し、《16\_DBバージョン\_yyyy\_mmdd\_hhmmss.csv》の日付時刻部分とその他ファイルの日付時刻部分を取込対象のCSVの日付時刻部分と一致させた後、[データ取込]を実施してください。

Q2.38 産地交付金の交付額１回目、２回目、３回目の使用方法について

産地交付金を１回目の交付対象の使途、２回目の交付対象の使途、３回目の交付対象の使途と分けて使途設定して支払う協議会で、３回のうちひとつの回にしか該当しない者は、本システムを利用する場合、１回目、２回目、もしくは３回目の該当する回に交付額が登録されます。（２回目もしくは３回目にしか該当しない場合は、水田活用の交付金計算書の２回目もしくは３回目欄のみに印字されることになります。）

本システムを使用せず、産地交付金の集計を手計算して産地交付金交付額情報ファイル（EXPORT\_6）を作成する場合、２回目もしくは３回目のみに印字されるということで無用な混乱を招く恐れがあるのであれば、１回しか支払わない者はすべて１回目欄に登録する運用としても問題ありません。

Q2.39 シートの削除や、シート内のレイアウトを修正してもよいか？

支援ツール内の列の削除・追加、シートの削除のような、レイアウトの変更を行うと、CSVの出力や取込処理が正常に動作しない恐れがあります。

Q2.40 農地の利用状況「営農計画書（画面２）」に記入した作物が集計画面「営農計画書（画面３）」で正しく集計されない。（例：加工用米の面積がなたねに集計される。）

マスタデータ取込で取り込んだ作物マスタに誤りがあると正しく集計されません。

「集計区分項目」の設定に誤りが無いか確認してください。

また、申請書入力システムのDBに変更があった場合には、記入用Excel「sakumotsu.xlsx」のレイアウトが変更になることがあります。古いレイアウトの記入用Excelで作成した作物マスタCSVを取り込んでも正しく集計されませんので、作物マスタCSVを作成する際には、使用する申請書入力システムと同時に配布された記入用Excelを使用してください。

Q2.41支援ツールで入力した営農計画書・面積払の「確定面積」を交付金算定システムへ登録する面積とするには、どのように操作すればよいか？

支援ツールから申請書入力システムに取り込むと、その時点では支援ツールで入力した確定面積・集計面積がそのまま登録されますが、その後、申請書入力システム上で集計をおこなうと確定面積は圃場の集計値（集計面積）で上書きされてしまいます。

面積払の圃場のみの場合は、申請書入力システム側で集計をおこなわず、そのまま提出用データ出力でＣＳＶ出力すれば支援ツールで入力した確定面積が交付金算定システムへ登録される面積となります。

面積払とその他の作物が混在している場合、支援ツール上で集計値もすべて正しく入力されていて申請書入力システムに取り込んでから集計の操作が不要であれば、集計操作を行わず提出用データを出力して問題ありません。

面積払とその他の作物が混在しており、面積払の確定面積以外の集計が必要な場合は、支援ツールから申請書入力システムに取り込んだ後、集計前に「営農計画書（画面３）」で「確定」のチェックボックスにチェック（※１）を入れ、集計をおこなうと確定面積が上書きされなくなり、支援ツールから取り込んだ確定面積の値を交付金算定システムへ登録することが可能です。

※１：登録申請者すべてを確定としたい場合は、営農計画書情報検索画面で一括設定することが可能です。

Q2.42 （削除）

Q2.43 「高収益作物畑地化支援」の対象ではない場合で「高収益作物のみ」を作付して畑地化する場合、申請書入力システムではどのように登録を行えばよいか？

　　　令和４年度より、「その他畑地化支援」は「一般作物又は高収益作物」（10.5万円/10a）と

「高収益作物のみ」（17.5万円/10a）に分かれるため、営農計画書においては、「高収益作物

のみ」の面積は、同じ単価の別メニューである「高収益作物畑地化支援」の面積に含まれる

ように記入する必要があります。

　　　また、申請書入力システムでは畑地化されたほ場の作物が「高収益作物のみ」であっても、

「高収益作物畑地化支援」の対象ではない場合、「その他畑地化支援」に集計されます。

したがって、申請書入力システムでは集計された値を画面から修正することができますの

で、「営農計画書（画面３）」において、「その他畑地化支援」に集計された「高収益作物のみ」の面積が、「高収益作物畑地化支援」の面積に含まれるよう手入力で修正してください。

1. **帳票出力及び登録用データの出力**

Q3.1 登録用ファイルの名前を変更してもいいか？

変更不可です。

Q3.2 登録用データは、地域協議会単位で一まとめにして提出する必要があるか？

集落単位等、作業を行ないやすい単位でデータを作成し、作業完了順に提出していただいて問題ありません。（提出用データのファイル一種類につき、一地域協議会で一ファイルにまとめる必要はありません。）

Q3.3 一旦提出したデータを修正して再提出する場合はどのようにしたらいいのか？

修正した申請者のデータのみ提出してください。（提出フラグを1にする。）但し、この作業を行うのが難しい場合は、再提出時に毎回、全申請者分のデータを提出することも可能です。

Q3.4 平成22年（前年）筆データ（筆番号・作物名・面積等）を反映する、しないで選択して作表できるか？

平成22年の農地情報についてはモデル対策データ引継ぎを行うことで印字することが可能となります。農地情報の印字を行わず、農業者の氏名、住所等を印字する場合は、モデル対策データの引き継ぎを実施後、支援ツールから農地情報を０件で出力し、そのＣＳＶファイルを取り込むことによって農地情報が削除（０件データで入れ替え）されますので、その状態で営農計画書を印刷すれば対応できます。

０件取込を行う際にはQ2.23を参照して空ファイルを作成してください。

Q3.5（削除）

Q3.6（削除）

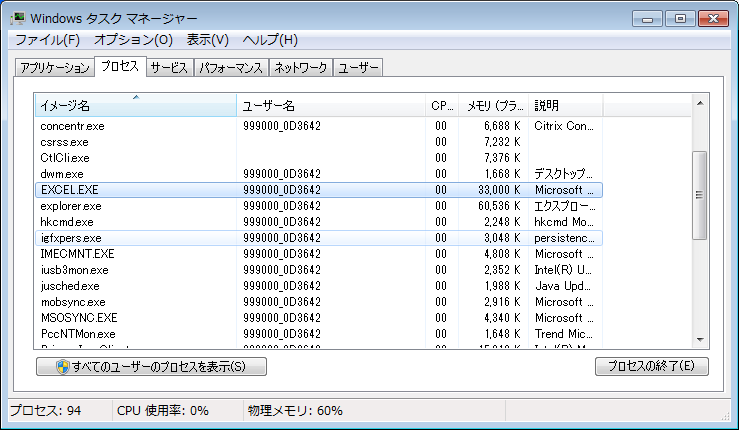
Q3.7 帳票出力中に申請書入力システムを強制終了した。

Excel帳票を出力中に強制終了した場合、内部処理でExcelのプロセスが残ってしまう可能性があります。その状態で別のExcelファイルを起動するとExcelのエラーが起こる可能性があります。まず、起動しているExcelを終了させてください（タスクバーにExcelがないことを確認してください）。



　　　　　　　↑Excelがないことを確認

次にタスクマネージャーを起動します（［Ctrl］+［Shift］+［Esc］キーを押します）。



Excelをすべて終了させているのにもかかわらず、EXCEL.EXEと表示されている場合はプロセスが残っています。

EXCEL.EXEを選択し、下部の［プロセスの終了］ボタンをクリックしてプロセスを終了させてください。

［プロセス］タブにてExcelのプロセスを終了して下さい。

Q3.8 帳票出力中に入力支援ツールを使用したいが？

Excel帳票出力は内部処理でコピー＆ペーストを行なっています。通常、帳票出力中に他のExcelファイルを開く事はできますが、そのExcelファイルでコピー＆ペーストを行なうと帳票出力が正しく行なわれない可能性がありますので、Excel帳票の出力中は他のExcelは使用せず、帳票出力が終了するまでお待ちください。

Q3.9様式11－10号の帳票の１回目、２回目と３回目の違いは何か？

１回目には１回目支払のものが印字され、２回目には１回目と２回目の支払のもの、３回目には1回目、２回目及び３回目の支払のものが全て印字されます。

例えば１～６の使途あった場合、１～２が１回目で３～４が２回目、５～６が３回目の場合は、１回目の帳票には１～２が２回目の帳票には１～４、３回目の帳票には１～６が印字されます。

Q3.10（削除）

Q3.11（削除）

Q3.12（削除）

Q3.13産地交付金活用実績の明細（総括表）シート「③追加配分」に出力された加工用米、備蓄米の実面積の集計と、合計（基幹　実面積）が一致しない。

産地交付金活用実績の明細における実面積の集計については、システム登録された、ほ場の情報を元に面積の重複が無いよう実面積を集計する仕組みが設けられています。

ただし、加工用米、備蓄米については、ほ場を特定しない作物であるため、ほ場から実面積を集計する仕組みが設けられておらず、「助成対象面積・助成金額情報入力」画面に直接、対象面積及び実面積を手入力する対応となっています。

協議会単位の産地交付金活用実績の明細で、加工用米と備蓄米については、農業者単位で手入力された実面積を集計する仕組みとなっており、農業者単位で手入力された実面積では、ほ場特定による重複面積の排除、配分枠ごとの判別が行えないことから、配分枠を跨る複数の加工用米・備蓄米の交付対象がある場合などは、実面積と一致しないこともあります。実際の実面積と一致しない場合は、出力された産地交付金活用実績の明細（Excelシート）上で、実面積欄の修正を行ってください。

Q3.14（削除）

1. **入力中のデータのバックアップ（ファイル出力）**

Q4.1 データのバックアップ機能はあるか？

[メインメニュー]－[データ処理]ボタンをクリックすると、《データ処理メニュー画面》の[確認用データ出力]機能を利用して入力中のデータのバックアップを取ることができます。

Q4.2 確認用データ出力で出力された02\_営農計画書情報\_20yy\_mmdd\_hhmmss.csvファイルのなかに、入力項目にはない「WCS用稲：出荷販売数量」、「控除面積」という項目があるがどの様に使用するものなのか？

申請書入力システム内部に保持している項目で現状、使用されていない項目です。管理上、出力しているだけですので確認ファイルを利用する際には、除外してご使用ください。